

令和 5 年度 学校関係者評価実施報告書 (まとめ用)

| | | | | | |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|
| 学校番号 | 18 | 学校名 | 静岡県立沼津東高等学校 | 記載者 | 市川 幸子 |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|

本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

| 主体性・多様性・学びに向かう力・人間性 | 育成する力 | 達成方法 (取組手段) | 成果目標 | 自己評価 | 関係者評価 | 意見 |
|---------------------|----------|--|---|------|-------|---|
| | 自己肯定力 | ・人権教育 ・ホームルーム活動 ・教科の授業 ・自治会活動 ・部活動 ・学校行事 ・交通指導 ・校外活動への参加 ・揺籃、課題研究 ・朝読書 ・進路指導 | ・自分自身にだいたい満足しており、物事を肯定的に考えることが多い生徒 60%以上◎ ・楽しく充実した学校生活を送っている生徒 90%以上◇ | B | B | ・進学に関して、国公立大学偏重、医学科偏重になると、私立大学、文系学部志望の生徒の自己肯定力が下がる可能性がある。生徒の自己肯定力を上げるために、生徒を褒める指導が必要である。減点評価ではなく加点評価で、主体的にチャレンジした生徒は、たとえ失敗しても加点評価する必要がある。 ・「物事を肯定的に考えることが多い生徒」は 7、8割いてもよいのではないかな。満足できていない生徒とよくコミュニケーションをとって、改善に努めていただきたい。スクールカウンセラーに相談する前に、生徒同士や教師と話して課題解決できるような雰囲気作りができるとよい。 ・多くの生徒は自己肯定感が高く、充実した学校生活を送っていることがわかる。各中学校から優秀な生徒が集まる沼津東高校で、特に学業で自己肯定感を高く保つのは難しい側面もあるが、自身の将来の目標に向けて高い意欲を保って、充実した学校生活を送ってほしい。 |
| | 利他・共生力 | | ・所属する集団や社会に貢献できるよう意識して行動している生徒 80%以上◎ ・いじめ件数・問題行動・交通事故・違反指導数の前年比減● | B | B | ・生徒に越境の経験を増やす必要性を感じる。もっと校外に出て、地域社会との連携を進めることで、多種多様な人材と交流することができる。ダイバーシティ&インクルージョンの考え方が浸透すれば、いじめも無くなるのではないかな。 ・交通安全は生徒自身が十分に意識を持つことが重要。自転車通学のヘルメット着用は義務化してもよいのではないかな。いじめや問題行動が0になるよう、生徒とのコミュニケーションを欠かささないでほしいと思う。 ・いじめの発生を確認、認識し、真摯に対応されたことを評価したい。 |
| | 関心・知的好奇心 | | ・学校の授業や日常生活の中で、興味・関心を抱いて情報を集めたり、「これに取り組んでみたい」と思ったりすることが多い生徒 60%以上◎ ・生徒の年間貸出し数 2700 冊以上● | B | B | ・スマートフォンがあれば、いつでもどこでも知識を得ることができる。電子書籍のアプリも普及しているので、スマートフォンやタブレットで生徒も利用していると思う。図書室の紙の本の貸出数に固執する必要は無いと思う。 ・DX化が進んでいるので、紙媒体での情報収集以外にネットでの情報収集を測る手段はあるのでは？ ・学業と部活で忙しい生徒が多く、情報を取得するツールも多様化しているので、本を読む冊数が減少してもやむを得ないであろう。 ・揺籃の時間などを使って、図書館に行く機会を積極的に作ってあげてほしい。 |
| | 挑戦・行動力 | | ・指示されたこと以外で、自分を高めるために、継続的に取り組んでいることがある生徒 70%以上◎ ・難関国公立大・医学科志望者数 120 人以上● ・地区大会を突破した部活動 10 以上● | B | B | ・難関国公立大・医学科志望者数の目標だけではなく、難関 5 私大(早稲田・慶応義塾・上智・東京理科・ICU)の志望者数も目標にすべきだと思う。大学卒業後の就職を考えたら難関 5 私大に進学することは有利になる。 ・生徒自身のモチベーションの維持は重要なことと思う。十分なサポートをお願いしたい。 ・難関国公立大・医学科志望者数と合格者数は、静岡県東部の拠点校として高い目標を保つべきであろう。部活動は担当教員の負担も考慮しながら、改善を進めてほしい。 |
| | 協働・巻き込む力 | | ・協働場面では、積極的に発言・活動して集団をまとめ、参加者全員を巻き込むよう工夫している生徒 60%以上◎ | B | B | ・大学の就職活動で、企業が評価する人材は「自分で考えて」「自分で行動し」「周りを巻き込んで」「成果を出す」である。周りの人の意識のベクトルを 1つにまとめることの大切さを高校生ときから認識してもらいたい。 ・生徒によってはリーダーシップを取れる生徒とそうでない生徒がいるので、難しいと思う。少なくとも自分の意見は言いつつも協調性を持てるような指導をお願いしたい。 ・授業見学でも、ほとんどの生徒がグループを作って、協働活動ができている様子を見ることができた。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|--|---|--|--|
| 知識・技能 | | <ul style="list-style-type: none"> ・香陵祭、スタディツアー、高原教室の満足度 80%以上◇ ・友人と協働して目的を達成することができた生徒 80%以上◇ ・英会話、校外の学び、ボランティア活動に参加した生徒 100人以上● | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・スタディツアーのような越境で、企業の優秀な人財と交流することが、生徒のキャリア形成には大きな影響がある。大学受験がゴールではなく、大学では社会で活躍するための力を身に付けることが必要だと認識すれば、受験勉強のモチベーションが上がる。 ・伝統行事を改善しながら、高い満足度を維持すること学校行事を考えてほしい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・教科の授業 ・揺籃、課題研究 ・一人一台端末活用 ・学びの基礎診断 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容が分かる生徒 80%以上◇ ・一人一台端末を活用している生徒 1・2年次生 90%以上◇ ・共通テスト5教科7科目受験率 90%以上● ・難関国公立大・医学科合格者 50人以上● | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト5教科7科目を、難関5私大やGMARCHの3教科に絞れば、私立大学のGMARCH以上の偏差値の大学に合格する生徒の数は増加すると思う。地方国公立大学に進学するよりも、GMARCH以上の私立大学に進学したほうが、社会で活躍できる選択肢が増える。三島駅から新幹線で東京の私立大学に通学している学生は多い。 ・厳しい言い方かもしれないが、「授業の内容が分かる生徒」は、理想は100%。大部分の生徒に分かってほしいと思う。また、分からない生徒に対して、きめ細かな指導をお願いしたい。 ・国公立大を目標にするだけでなく、世の中の動きに柔軟に対応して、大学卒業後の進路に目を向けることも大切だと感じる。 ・授業見学においてレベルの高い授業が行われていることが理解できた。高いレベルを維持するためには、教師の事前準備がどうしても必要になるため、教師間で協力することで負担が少なくなるように工夫してほしい。 ・国立理系偏重のきらいがあるように感じられるので、様々な分野に生徒が興味を持てるような工夫を今まで以上にしてほしい。 | |
| 思考力・判断力・表現力等 | 目標設定力 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決や大きな目標達成のために、高すぎず低すぎない適切な小・中目標を設定することができる生徒 60%以上◎ | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・大学出張講義の機会を、生徒がオープンキャンパスなどで大学に出向き授業を受ける機会に繋がれば、首都圏の優秀なライバルを意識することができると思う。 ・「高過ぎず低すぎない目標の設定」であればより多くの生徒ができるのではないかと。客観的な自己分析ができるような指導をお願いしたい。 ・生徒自身が適切な目標を設定し、その達成を目指して欲しい。 | |
| | 課題発見・分析力 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科の授業 ・揺籃、課題研究 ・進路指導 ・職業を知るセミナー ・大学出張講義 ・志望校設定等 ・部活動 ・学校行事 ・校外活動への参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的に観察し、その良さと課題の両方を見いだすことができる生徒 70%以上◎ | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に探究の課題を設定できない高校生が増加している。生徒が主体的に課題を発見し、能動的に探究を進められる環境が必要だと思う。もっと大学の知財を活用するようなしくみ作りが必要になると思う。 ・理数探究の発表会で、課題発見と分析が素晴らしく良くできていると実感した。普通科、理数科を問わず、大学生、社会人になっても、この姿勢を伸ばしていけるように、指導をお願いする。 ・様々な活動を通して、生徒自身が自分の将来を考える機会を作っていることを評価したい。 |
| | 思考力 | <ul style="list-style-type: none"> ・意見を求められたとき、自分の意見を適切な根拠を示しながら、順序だてて説明することができる生徒 70%以上◎ | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・沼津東高校の生徒は、インプットは得意だと思うので、今後はアウトプットの機会を増やして、校外の第三者に評価をもらうしくみを増やしてもらいたい。 ・思考力は重要と思う。Aにしてほしい。 ・研究者には、思考力があっても、説明が苦手なものは多い。 ・より多くの生徒に発表の機会を与えて成長のきっかけとしてほしい。 | |
| | 表現・発信力 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明するときは、聞き手を意識して話し方を工夫したり、適切な機器を用いたりして、分かりやすく説明することができる生徒 70%以上◎ | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒にとって身近なロールモデルなので、教員がお手本を示してもらいたい。 ・表現力、発信力も重要と思う。Aを目指してほしい。 ・学校の活動の中で、生徒が自ら発表プレゼンテーションを行える場面が適切に設定できている。 | |

様式第 5 号

| | | | | | | |
|------|--|--|---|---|---|--|
| | 創造力 | | <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校生活の中で、自分の世界や発想の幅が広がっている生徒 80%以上◎ | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・人は自分の経験からしか発想できないので、越境して経験の幅を広げないと、自分の世界や発想の幅は広がらないと思う。 ・創造力の目標が 80%なら、思考力、表現・発信力も目標 80%以上としてほしいと思う。また、その高い目標でAとなしてほしいと思う。これらの項目は普通科、理数科を問わず、大学生、社会人になっても必要とされる能力と思う。 ・学校生活の中で、自分の世界や発想の幅が広がると感じる生徒の割合が非常に高く、学校の指導が適切だと判断できる。 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・第一志望校（3年次1学期）を受験した生徒 50%以上● ・探究や授業成果の校内発表会実施、校外の発表会等への参加● ・教科、科学、図書、関係部活、探究・課題研究等入賞● | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・校外の発表会で優秀な他校の生徒と競争することで生徒の能力が磨かれると思う。他県に出て、優秀な生徒と切磋琢磨してほしい。 ・多くの生徒が第一志望校を受験できるよう、持続的にきめ細かな指導をお願いしたい。探究の発表を校外でも行えるようになると、生徒のモチベーションが上がるのではないかな。 ・今春の大学進学についても、高い成果が達成されることを期待したい。 |
| 業務改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX、外部人材活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・月別時間外労働時間の前年比減少 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教員に余裕がないと校内がギスギスするので、教員が休める環境を作してほしい。 ・教職員の皆さんは大変でつらいことも多いかと思うが、教育、人材育成は非常に重要な仕事である。健康には十分注意したうえで力を存分に発揮し、人間的に優れた生徒を育ててほしい。 ・DX化を進める中で、教師の時間外労働時間の削減に努めてほしい。 | |

◎1学期末、学年末生徒アンケート ◇生徒対象学校生活アンケート ●データ